

2022年度「基礎研修Ⅲ」募集要項



「基礎研修Ⅱ」を修了された方に対して、受講者を募集します！

岐阜県社会福祉士会では、日本社会福祉士会生涯研修制度と認定社会福祉士制度に基づいた「基礎研修Ⅲ」を開催します。なお、この研修は認定社会福祉士認証のための研修でもあります。

■生涯研修制度における基礎課程の位置づけ

〈ねらい〉

社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけます。生涯研修制度の修了認定は、研鑽を積んでいる社会福祉士であることを証明します。

■基礎研修Ⅰ～Ⅲは、3期にわたる研修です

研修形態は、①事前課題による自己学習、②講義（e-ラーニング）＋演習（Zoom）、③レポート作成などの事後課題を交えた研修となります。（※2022年度）

基礎研修ⅡとⅢは、6月より3月までの年9回にわたる集合研修が実施されます（概ね月1回）。1年間で全研修を修了できなかった場合、受講できなかった研修を、翌年度以降に受講して修了することもできます。ただし、認定社会福祉士の認証を目的とするためには、3期にわたる研修を最大6年間で修了する必要があります（期限があります）。（※2020年度を除く延べ6年間となります。）

■「共通研修」「分野別研修」の受講は、基礎研修課程修了後が原則です。

基礎研修Ⅲのねらい

「社会福祉士として共通に必要な知識・技術を踏まえた、実践の展開を学ぶ」
講義（e-ラーニング）＋演習（Zoom）＋自宅学習・事前課題・レポート作成

費用

会員：30,000円 非会員：50,000円（延長受講者以外は、全日程一括料金）
（ワークブック代含む。後日郵送します。）※次年度より個人負担となります。

※延長受講：1年目 一日につき 会員：1,000円 非会員：2,000円
2年目以降 一日につき 会員：2,000円 非会員：4,000円

テキスト：受講には、以下のテキストが必要です。

お持ちでない方は、各自で日本社会福祉士会ホームページから購入してください。

<https://jacsw-shop.com/>

●基礎研修上巻：2,277円（税込み） ●基礎研修下巻：2,277円（税込み）

受講資格

2021年度までに基礎研修Ⅱを修了している方 または基礎研修Ⅲを延長受講する方

申し込み

■締め切り：2022年4月28日（木） ※必着

■申込方法：下記口座に受講料を振込み、「受講申込書」に必要事項をご記入の上、振込票（コピー可）を添付して、郵送又はFAXのいずれかでお申し込みください。

十六銀行 県民ふれあい会館出張所

口座番号：（普）1091407

口座名義：一般社団法人岐阜県社会福祉士会

代表理事 安達智紀（アダチトモノリ）

■お問合せ先：一般社団法人岐阜県社会福祉士会

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館6階

TEL：058-277-7216 FAX：058-277-7217

受講の留意点

■岐阜県で受講できない研修を、他都道府県社会福祉士会で受講することは可能です

他県受講についての費用は、東海四県（愛知・岐阜・静岡・三重）においては、協定書を結んでおりますので1日3,000円の受講費用が、別途必要となります。東海四県以外については、各県が定めた金額となり自己負担となります。

研修形態や研修テーマの順番は各県で異なりますので、直接お問い合わせいただくかホームページ等で各自ご確認ください。

他県受講が決定した場合は、必ず岐阜県社会福祉士会事務局までご連絡ください。

■各科目は、科目単位で全て受講していないと単位認定されません

科目によっては受講の順番が定められており、順番に受講していないと次の研修を受講してもつながりが、わからないものがあります。

科 目	受講の順番
地域開発・政策系科目Ⅰ	6月5日→中間課題→11月6日の順番に受講
実践評価・実践研究系科目Ⅰ	7月3日→10月2日の順番に受講
サービス管理・経営系科目Ⅰ	7月3日・12月4日→事前課題→1月8日の順に受講

上記科目の研修を順番に受講できない事態が生じた場合は、以下のいずれかの方法をとります。

- ① 同じ科目の次の研修を受講できないので、次年度以降に受講する（延長受講）
- ② 同じ科目の次の研修までに、受講できなかった研修を、他県で受講する

2022年度 基礎研修Ⅲ 集合研修（Zoom）予定一覧

- **原則** 岐阜県：第1日曜日（集合研修は全日程 Zoom ミーティングにて開催）
 ※他県受講の日程・会場については、必ずホームページや問合せにてご確認下さい。
- 受付開始は8：45。研修開始は9：00。
 遅刻は15分まで認めます。それ以降は受講とみなしません。
- 集合研修テーマのe-ラーニング講義を視聴したうえでの集合研修参加となります。
 e-ラーニング講義を視聴後「受講証明書」を**集合研修開催日1週間前迄**にメール又は郵送にて事務局へ提出してください。提出がない場合は、当該研修テーマの集合研修は受講できません。

日 程	研修内容
6月5日（日） 9：00～15：00（休憩60分）	③地域開発・政策系科目Ⅰ 「地域における福祉活動の実際」
7月3日（日） 9：00～14：30（休憩60分）	④サービス管理・経営系科目Ⅰ 「社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営」 「福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント」 ① 実践評価・実践研究系科目Ⅰ 「事例研究の方法としてのケースカンファレンス」
8月7日（日） 9：00～12：30	①ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 「実践事例演習Ⅱ」
10月2日（日） 9：00～14：30（休憩60分）	①実践評価・実践研究系科目Ⅰ 「模擬事例検討会」
11月6日（日） 9：00～16：00（休憩60分）	③地域開発・政策系科目Ⅰ 「地域の課題の解決に向けた具体策について」
12月4日（日） 9：00～13：00（休憩30分）	④サービス管理・経営系科目Ⅰ 「リスクマネジメントと苦情解決システム」 ⑤人材育成系科目Ⅰ 「スーパービジョンのモデルセッション」
1月8日（日） 9：00～15：00（休憩60分）	④サービス管理・経営系科目Ⅰ 「事例研究（苦情、リスク、サービス評価）」
2月5日（日） 9：00～14：30（休憩60分）	②権利擁護・法学系科目 「意思決定の支援」
3月5日（日） 9：00～13：00	⑤人材育成系科目Ⅰ 「新人教育プログラム」

*①～⑤は日本社会福祉士会が示した受講の順番。東海四県ではレポート課題・時間数の関係上順番変更。